

災害安全（震災）小学校 第6学年 防災教育年間指導計画（例） — 総合的な学習の時間を中心に —

安全教育目標

安全な生活を営むのに必要なことから理解し、安全な行動ができる習慣を身に付けさせるとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童の育成。

防災教育目標 第6学年（災害安全）

地震発生時には、自分の判断で行動し、周囲の人々の安全にも配慮した行動ができる。

各教科

社会科

【私たちのくらしと日本国憲法 4月】
・防災への政府の働きを学ぶ。
【震災復興の願いを実現する政治 5月～6月】
・防災も大きな課題であることを学ぶ。

理科

【変わり続ける大地 9月下旬～10月中旬】
・火山活動や地震による土地の変化を理解する。
【地球に生きる 2月下旬～3月上旬】
・自然災害における環境の変化について理解する。

国語科

【防災ポスターを作ろう 6月】
・資料を用いて防災を呼びかけるポスターを作る。（社会科と関連）
【町の未来をえがこう 10月】
・コミュニティデザインを考える。（社会科と関連）

総合的な学習の時間

単元名 命を守るための備え（届けよう私たちの思い）（32時間）

単元目標 地域の防災上の課題を見つけることで、命の大切さや環境について一人ひとりが考え、地域のために何ができるか主体的に学び、実践しようとする態度を養う。

【導入】9月（2時間）

・地震や津波のメカニズムや影響、過去の災害の様子について知り、防災学習への意欲を高める。

【課題設定】9月（2時間）

・防災学習の3つの柱に沿って、テーマを設定する。

【情報収集】10月（4時間）

・フィールドワークや調べ学習を行い、地域の避難場所や危険箇所等の情報収集を行う。

【整理・分析】10月（8時間）

・防災マップを作成する。
・各グループに分かれ、マップ作りの手順に沿って作業を行う。
・事前にマップに載せる情報の整理を行う。

【課題設定】11月（2時間）

・自分の命を守るために、地域のために何ができるか考え、それを達成するために個人で考えをもち、グループで活動について話し合い、目標を考える。

【情報収集】12～1月（8時間）

・調べ学習をしたり、地域の防災・安全対策に詳しい方の話を聞いたりして、情報収集を行う。

【まとめ・発信】2月（4時間）

・内容について各グループから報告し、全体で共有する。
・他学年への発表を通して、地域防災の重要性について発信を行う。
・2月の参観日で、完成した防災マップを掲示し、保護者への発信も行う。

【振り返り】3月（2時間）

・自分達の活動を振り返り、記録用紙にまとめる。
・これまで学習した内容や活動を下級生が継続できるように助言する。
・中学生では、どんな地域防災が必要になるか、話し合いを行う。

特別活動

学級活動

【津波から逃げる 4月】

・津波避難の三原則を知り、どこにいても一人でも津波からの避難方法を考える。（高知県安全教育プログラム）

【これが大切！我が家の備え 10月】

・南海トラフ地震に備え、今からできることを考える。（高知県安全教育プログラム）

●【避難生活を考えよう 11月】

・避難生活の様子を知り、自分でできることを考える。（高知県安全教育プログラム）

学校行事

【1学期】

●避難訓練【地震津波を想定した訓練】 ●心肺蘇生法講習会
●新体力テスト ●避難訓練【休み時間】 ●生活委員会による報告（学校生活）

【2学期】

●避難訓練【シェイクアウト参加】 ●校区防災訓練参加【高台避難：津波防災の日】 ●避難訓練【火災時】
●宿泊学習【地震津波訓練】 ●運動会 ●避難訓練【下校時】 ●生活・保健委員会の取組報告（地震・感染症）

【3学期】

●避難訓練【掃除中】 ●生活委員会による取組の報告（津波）
●6年生による総合的な学習の時間のまとめの報告